



# 令和3年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年2月9日

上場会社名 株式会社 テーオーシー  
 コード番号 8841 URL <http://www.toc.co.jp/toc/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務管理部門担当  
 四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 大谷卓男  
 (氏名) 石田雅彦  
 TEL 03-3494-2111

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	11,910	14.3	4,287	11.0	4,605	8.8	3,134	9.2
2年3月期第3四半期	13,905	1.9	4,818	0.3	5,049	1.7	3,454	0.3

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 3,567百万円 (11.8%) 2年3月期第3四半期 4,045百万円 (35.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	32.74	
2年3月期第3四半期	35.74	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期第3四半期	109,286	91,976	83.5	954.18
2年3月期	110,780	89,395	80.0	925.83

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 91,302百万円 2年3月期 88,628百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		5.00		5.00	10.00
3年3月期		5.00			
3年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	12.9	5,500	11.7	5,900	9.1	4,000	10.6	41.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期3Q	103,879,352 株	2年3月期	103,879,352 株
期末自己株式数	3年3月期3Q	8,192,301 株	2年3月期	8,150,673 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期3Q	95,736,775 株	2年3月期3Q	96,646,400 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) その他	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(令和2年4月1日～令和2年12月31日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきまして、コロナ禍による企業収益の悪化や働き方の見直しで、東京都心部では、オフィス需給が減退傾向にあり、入居率、賃料水準とも下落傾向が見受けられるようになりました。

また、商業ビルにおきましては、新型コロナウイルス感染拡大により4月の緊急事態宣言下では商業施設を休業するなどの措置を強いられ、施設の再開後も未だ感染症の収束の見通しがつかず、来館者数が減少するなど厳しい状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,910百万円(前年同四半期比14.3%減)、営業利益は4,287百万円(前年同四半期比11.0%減)、経常利益は4,605百万円(前年同四半期比8.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,134百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、ビルの特性に応じたテナント獲得の強化に取り組み収益の拡大に努めました。新型コロナウイルス感染症の影響による催事施設の稼働低下、4月の緊急事態宣言下による商業施設の休業もあり、当事業での売上高は10,408百万円(前年同四半期比5.1%減)となりましたが、営業利益は修繕費等の減少により4,786百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により大口顧客先からの受注が大幅に減少し、売上高は585百万円(前年同四半期比57.1%減)となり、営業損失は274百万円(前年同四半期は82百万円の営業利益)となりました。

その他におきましては、ビル管理関連サービス事業で増収になったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業では、4月から5月にかけて2か月弱に及ぶ施設の休業を余儀なくされ、スポーツクラブ事業では会員の減少、また、温浴施設事業では来場者の減少等により、その他での売上高は916百万円(前年同四半期比41.6%減)となり、営業損失は237百万円(前年同四半期は70百万円の営業利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,493百万円減少し109,286百万円となりました。主な減少は、現金及び預金が1,703百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,073百万円減少し17,310百万円となりました。主な減少は、未払法人税等が2,432百万円及び短期借入金が629百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,580百万円増加し91,976百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益3,134百万円及びその他有価証券評価差額金527百万円であり、主な減少は、剰余金の配当957百万円であります。

自己資本比率は、前連結会計年度末の80.0%から当第3四半期連結会計期間末は83.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)につきまして、令和2年5月12日の決算短信で公表いたしました。その前提として新型コロナウイルス感染症の影響により、6月まで緊急事態宣言下の状況が続き7月以降回復していくものと想定しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症は7月以降も収まることなく、人々の行動、経済活動に大きな制約をもたらしました。

このような状況下、当社グループの主力事業であります不動産賃貸業では、ほぼ予想どおりに推移しておりますが、リネンサプライ及びランドリー事業、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業等に及ぼす影響は大きく、また、1月には緊急事態宣言が再発令され、当面、各事業で売上の回復が見込めない状況にあり、令和3年3月期の業績予想を修正いたします。詳細につきましては、令和3年2月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) その他

これまでも当社決算短信等においてお知らせして参りましたが、TOCビル（東京都品川区西五反田7丁目22番所在。なお、TOCフロントビルも対象に含まれます。）の建替えを行うことにつきまして、同所での開発事業計画を引き続き検討しております。

現在、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るため高度利用地区等の都市計画法の手法を活用すべく、行政機関を含めた関係各所との間で、事業計画に関する協議を進めております。建物規模、施工スケジュール等につきましては、現段階では決定されておられません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,453	30,749
受取手形及び営業未収入金	467	669
商品及び製品	17	20
仕掛品	23	26
原材料及び貯蔵品	160	137
その他	216	356
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	33,337	31,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,696	24,618
機械装置及び運搬具(純額)	553	487
土地	28,922	28,882
建設仮勘定	355	926
その他(純額)	123	98
有形固定資産合計	55,651	55,014
無形固定資産		
借地権	7,076	7,076
施設利用権	17	17
その他	49	38
無形固定資産合計	7,143	7,133
投資その他の資産		
投資有価証券	13,665	14,405
保険積立金	638	467
繰延税金資産	13	8
その他	329	300
投資その他の資産合計	14,647	15,182
固定資産合計	77,442	77,329
資産合計	110,780	109,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27	32
短期借入金	1,499	870
1年内返済予定の長期借入金	651	679
未払金	927	357
未払消費税等	245	201
未払法人税等	3,021	589
前受金	947	1,014
賞与引当金	89	25
環境対策引当金	482	—
その他	925	908
流動負債合計	8,819	4,679
固定負債		
長期借入金	1,769	1,457
長期預り保証金	8,871	8,829
退職給付に係る負債	449	437
資産除去債務	165	165
繰延税金負債	964	1,477
その他	345	264
固定負債合計	12,565	12,631
負債合計	21,384	17,310
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	9,326	9,326
利益剰余金	70,138	72,313
自己株式	△6,423	△6,450
株主資本合計	84,809	86,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,818	4,345
その他の包括利益累計額合計	3,818	4,345
非支配株主持分	767	673
純資産合計	89,395	91,976
負債純資産合計	110,780	109,286

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	13,905	11,910
売上原価	7,745	6,447
売上総利益	6,159	5,462
販売費及び一般管理費	1,340	1,174
営業利益	4,818	4,287
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	229	222
助成金収入	-	73
持分法による投資利益	23	17
その他	38	37
営業外収益合計	293	352
営業外費用		
支払利息	29	21
固定資産除却損	15	5
その他	17	8
営業外費用合計	62	34
経常利益	5,049	4,605
特別利益		
固定資産売却益	-	24
特別利益合計	-	24
特別損失		
投資有価証券評価損	-	31
特別損失合計	-	31
税金等調整前四半期純利益	5,049	4,598
法人税、住民税及び事業税	1,550	1,273
法人税等調整額	10	283
法人税等合計	1,561	1,557
四半期純利益	3,487	3,040
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	33	△94
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,454	3,134

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益	3,487	3,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	557	527
その他の包括利益合計	557	527
四半期包括利益	4,045	3,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,011	3,661
非支配株主に係る四半期包括利益	33	△94

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプ ライ及びラン ドリー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,970	1,364	12,335	1,569	13,905	—	13,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	483	34	517	52	569	△569	—
計	11,453	1,399	12,852	1,622	14,475	△569	13,905
セグメント利益	4,655	82	4,738	70	4,809	9	4,818

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額9百万円には、セグメント間取引消去8百万円、減価償却の調整額1百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプ ライ及びラン ドリー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,408	585	10,994	916	11,910	—	11,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	411	17	428	46	475	△475	—
計	10,819	602	11,422	962	12,385	△475	11,910
セグメント利益又は 損失(△)	4,786	△274	4,512	△237	4,274	13	4,287

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額13百万円には、セグメント間取引消去11百万円、減価償却の調整額1百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。